

さあ、世界へ

～2020年の世界自然遺産登録を目指しています～



かけがえのない沖縄の自然、世界へ再チャレンジ中

2019年2月1日、ユネスコ世界遺産センターに「奄美大島、徳之島、沖縄島北部及び西表島」世界自然遺産候補地の推薦書が再び提出されました。

沖縄島北部(やんばる地域)や西表島には、日本最大級の亜熱帯照葉樹林やマングローブ林が広がり、ヤンバルクイナやイリオモテヤマネコなどの特定の限られた地域にのみ生息する生き物、いわゆる固有種もたくさんいます。

こうした自然環境は世界的にもとても貴重で、このかけがえのない自然を未来に守り伝えていくため、鹿児島県の奄美大島及び徳之島とともに、2020年の世界自然遺産登録を目指しています。



世界自然遺産登録により期待されること、心配なこと

世界自然遺産登録の効果として、遺産の価値である貴重な自然環境を守るための取組が進み、自然が守られること、また、知名度のアップや観光地としてのイメージの向上により、多くの方が地域を訪れる機会が増え、地域活性化につながることで、などが期待されています。

しかし、その一方で利用者の増加に伴う自然環境の劣化、交通量増加に伴う生き物の交通事故増加、希少な野生生物の違法採取の増加、訪問客増加に伴う地域生活への影響等も心配されています。



自然を守り、活かすために

県では、世界自然遺産登録を見据え、自然を守り、活かすため、関係機関等と協力して、ヤンバルクイナなどの希少種の生存を脅かす外来種(マングース等)の駆除、希少種の密猟・盗採防止のためのパトロール、イリオモテヤマネコなどの野生動物の交通事故防止対策、自然環境の保全と自然利用の両立を図るための計画(持続的観光マスタープラン、エコツーリズムガイドライン)づくり等に取り組んでいます。

世界自然遺産登録を実現し、「うまんちゅの宝」である沖縄の自然を守り伝えていくためには、県民ひとりひとりの働きかけが重要です。皆さまのご理解・ご協力をお願いします。



ひとりひとりが今日からできること

- ・自然に親しみましょう
- ・野生の動植物のむやみな持ち出しは避けましょう!
- ・ペットは責任をもって飼い、山野に放さないようにしましょう!
- ・車は、ゆっくり走行させましょう!



問い合わせ

自然保護課

電話:098-866-2243

FAX:098-866-2855



第43回全国育樹祭
式典行事の一般参加者募集中

